

ほけんだより

9月

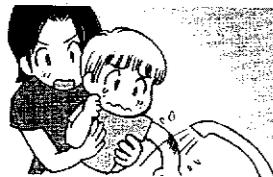
太陽の子保育園平成23年9月

暑さも少しずつやわらぎ、子どもたちの元気な顔が戻ってきました。休み中のできごとを話してくれる様子を見ていると、夏の間に子どもたちが心身ともに一段と成長したことを感じます。夏の疲れの出る時期でもあります。体調の変化に注意し、無理をしないようにしましょう。

やけどをした!!

やけどの範囲が広い時は、救急車を!!

水道水などの流水で、痛みがなくなるまで冷やす。



★発熱用の冷却シートは、傷口に張りつくことがあるので、やけどの手当てには×。

★薬や油などをつけないこと。

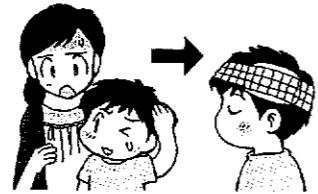
頭をぶつけた!!

呼びかけても反応がない時は、救急車を!!

①声をかけ、反応を見る。

②ふつうに受け答えができるれば、ぶつけたところを冷やして、様子を見る。

★24時間は目を離さず、注意深く様子をみます。



何かを飲みこんだ!!

漂白剤やトイレ用洗剤を飲んだ時は、吐かせずに救急車を!!

①何を、どのくらい飲みこんだかをチェック。

②頭を低くして、口に指を入れ、舌の付け根を押して吐き出させる。

★判断に迷う時は、吐かせずにすぐ病院へ。



こんな時は、病院へ

- やけどの範囲が子どもの手のひらより大きい。
- 傷口が白っぽい。
- 水ぶくれができている。



こんな時は、病院へ

- 手足の動きがおかしい。
- 吐き気がある。
- 顔色が悪い。
- きげんが悪い。



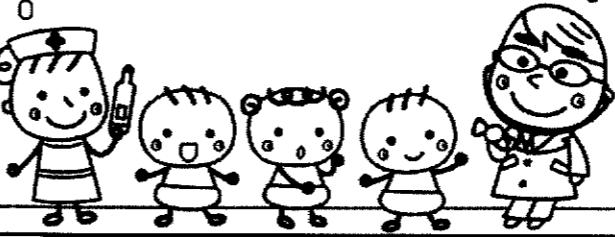
こんな時は、病院へ

- とがったものを飲みこんだ。
- 意識がはっきりしない。
- けいれんしている。
- おう吐が止まらない。
- 顔色が悪い。



0歳児健康診断

9月21日(水)
12:30~



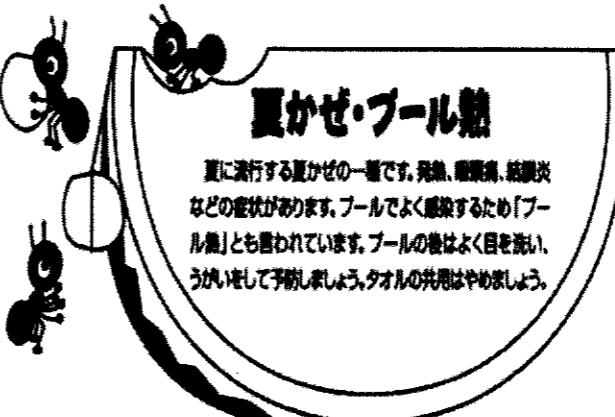
8月の感染症

手足口病…9名
ヘルパンギーナ…1名
リンゴ病…2名
おたふく…1名
水痘…1名
プール熱…1名



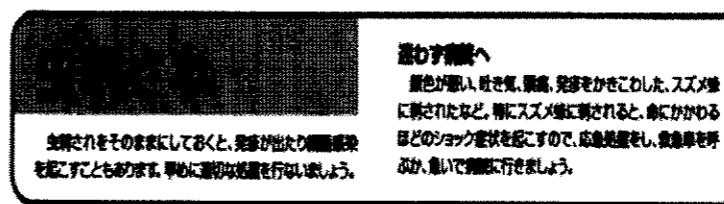
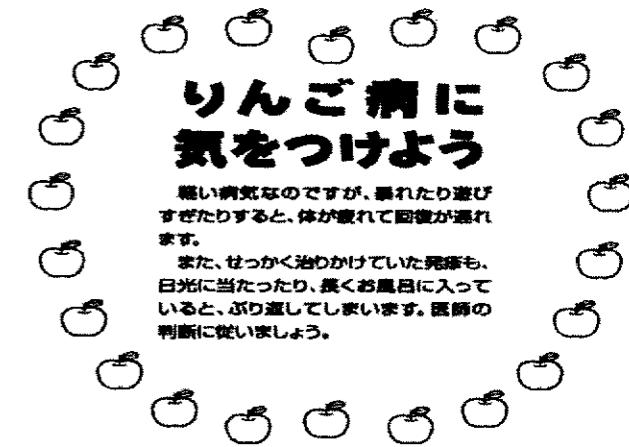
夏かぜ・ブルー熱

夏に行なう夏かぜの一型です。発熱、頭痛、結膜炎などの症状があります。ブルーでよく感染するため「ブルー熱」とも書かれています。ブルーの巻はよく目を黒い、うがいをして予防しましょう。タオルの両端はやめましょう。



りんご病に気をつけよう

軽い病気なのですが、暑れたり遊びすぎたりすると、体が疲れて回復が遅れます。
また、せっかく治りかけていた発疹も、日光に当たったり、長くお風呂に入っていると、ぶり返してしまいます。医師の判断に従いましょう。

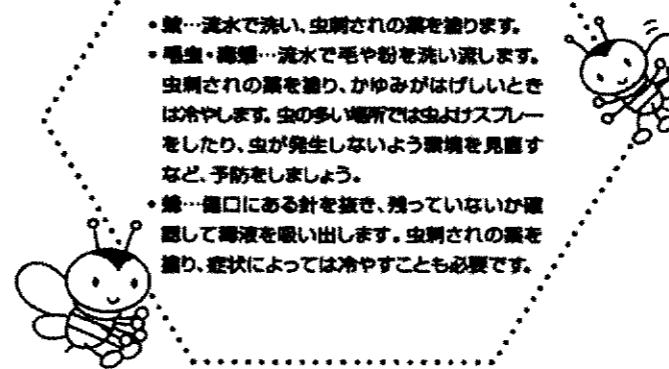


赤むき病へ

顔色が悪い、吐き気、頭痛、発疹を引きこむした、ズズメ等に刺されたなど、特にズズメ等に刺されると、身にかかるなどのショック症状を起こすので、虫刺撃をし、救急車を呼び、思い切って病院に行きましょう。

虫刺されの処置の仕方

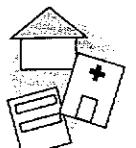
- ・鏡…流水で洗い、虫刺されの薬を塗ります。
- ・鳴虫・蝉等…流水で毛や粉を洗い落します。
- 虫刺されの薬を塗り、かゆみがはげしいときは冷やします。虫の多い場所では虫よけスプレーをしたり、虫が発生しないよう環境を見直すなど、予防をしましょう。
- ・蝶…蝶口にある針を抜き、残っていないか確認して毒液を吸い出します。虫刺されの薬を塗り、症状によっては冷やすこともあります。



9月1日 防災の日

電話番号をメモしておきましょう

- 家族の連絡先
- カカリつけ医・近くの医療機関
- 保健所・役所



停電で家の電話や携帯電話が使えない場合に連絡先が分からないように。

子どもが自分で言えるように

- 自分の名前と住所(町名など)

親と子の名前・住所・電話番号・血液型を書いたカードを身につけておくと安心です。

